

株主・投資家通信

第15期第2四半期決算のご報告

2011年9月1日～2012年2月29日



株式会社メディア工房
Media Kobo, Inc.

証券コード:3815

メディア工房

検索

<http://www.mkb.ne.jp/>

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。東日本大震災から1年以上が経過し、あらためてお亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災地の皆様の一日も早い復興復旧を心よりお祈り申し上げます。

2012年8月期 第2四半期は、当社にとりまして大きな変化への対応の最中にあります。企業を取り巻く環境は常に変化していますが、モバイルコンテンツ業界においては、その環境変化が急速に進行しています。現在、コンテンツの配信先である携帯電話が、従来型のフィーチャーフォンから機能的・構造的にパソコンに近いスマートフォンへ移行する転換期にあります。企業経営において、これまでの成長が今後の成長を約束するものではありませんので、常に変化へチャレンジして成長していくことが大切だと考えております。また、新たな成長への布石のひとつとして、今年の3月には今後大きなマーケットになると予想している中国でコンテンツの配信をスタートさせました。

現在、取り組んでいるこれらのことは、今後の成長の鍵となると考えており、第二の創業期と位置づけて事業拡大に邁進していきます。これまで築いてきた優位性に更に磨きをかけ、今起きている変化を積極的に捉えて成長していく考えでおります。

引き続き、株主の皆様の期待に応えるべくオリジナリティに富んだコンテンツ及びサービスを提供し、お客様の満足度を最優先とすることで、業績向上、企業価値向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、相変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
長沢 一男

2012年8月期第2四半期(第15期中間期)連結業績の概要

連結決算の業績報告

2012年8月期 第2四半期連結累計期間決算概要

第15期中間期(2011年8月～2012年2月)の状況は、売上高は順調に拡大しましたが、携帯販売子会社の不振等により減益となりました。

●売上高増加の要因

- ・モバイルコンテンツの売上高が順調に伸びました。
- ・パソコン向けコンテンツが前第2四半期比で33%増加しました。

●利益減少要因

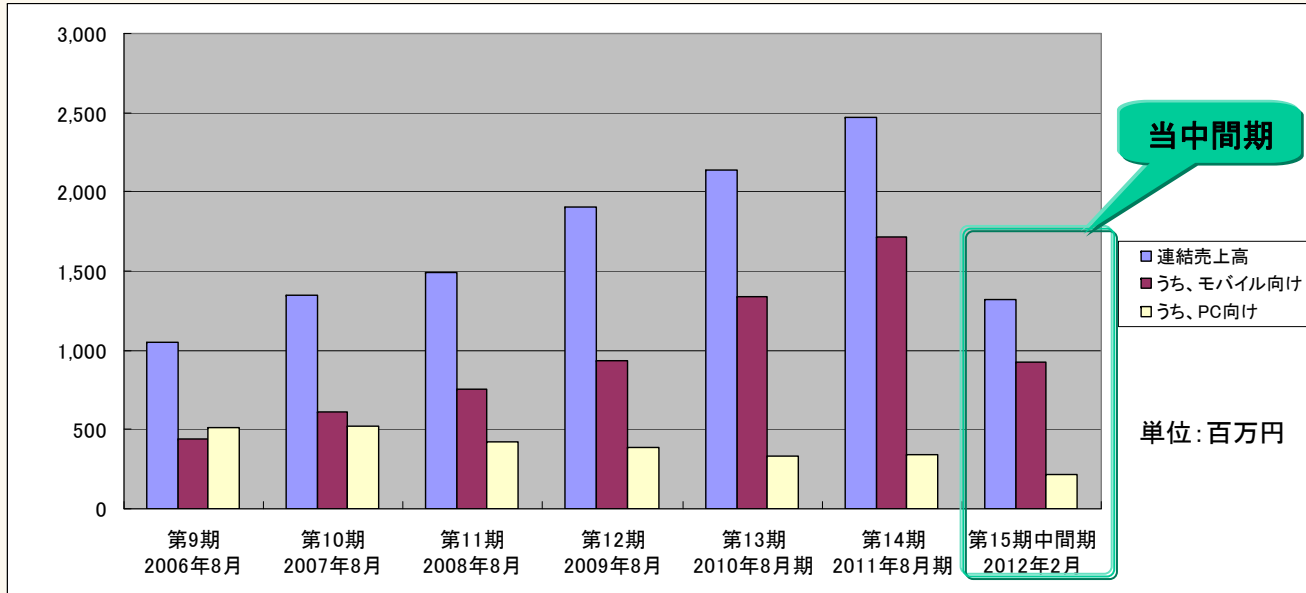
- ・携帯販売子会社の売上減少、且つ、赤字(当期純利益△19百万円)が影響しました。
- ・広告費の増加等により、販売及び一般管理費が増加しました。

(単位:百万円)

	第13期		第14期		第15期中間
	(2010年8月期中間)	(2010年8月期)	(2011年8月期中間)	(2011年8月期)	(2012年8月期中間)
売上高	1,007	2,135	1,212	2,468	1,319
経常利益	194	446	359	613	284
当期純利益	112	256	215	356	151
売上高経常利益率	19.3%	20.9%	29.7%	24.8%	21.5%

業績の概要

連結売上高の推移とその主たる構成



当社グループの中心事業であるコンテンツ事業を、その配信先別に分類しますと、モバイル向け及びPC向け配信に区分することができます。

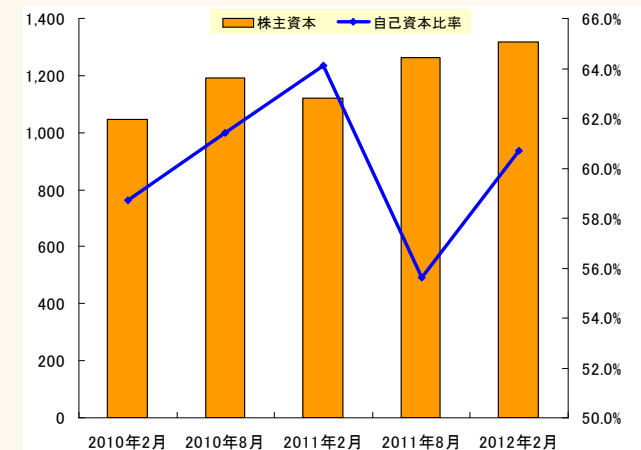
この第15期中間期の特徴としまして、モバイル向けは引き続き順調に伸びてきております。一方、PC向けは第10期の売上高がピークとなり、その後減少しておりました。PC向けの市場規模が縮小傾向にあると想定される中、当社グループのPC向け売上高も減少傾向でしたが、この第15期中間期では売上高が前年同期比で32.5%伸びました。その要因としては、ヒットコンテンツを連発することによって売上高を伸ばした結果だと考えております。

財政状態について

前期(第14期)末との貸借対照表の比較

	前期連結 (2011年8月31日)	当期中間連結 (2012年2月28日)
流動資産	1,754	1,452
有形固定資産	76	288
無形固定資産	72	60
投資その他の資産	370	368
資産合計	2,273	2,170
流動負債	747	624
固定負債	246	208
負債合計	994	832
純資産合計	1,279	1,337
負債純資産合計	2,273	2,170

株主資本・自己資本比率の推移



●安定した財務体質

貸借対照表の主な増減内容

- ・流動資産の減少は、「現金及び預金」の361百万円減少による影響です。
- ・有形固定資産の増加は、土地及びサーバーの購入による影響です。
- ・負債の減少は、借入金返済の61百万円や未払費用の減少40百万円、未払法人税等の減少39百万円による影響です。

2012年8月期第2四半期(第15期中間期)連結業績の概要

連結セグメントの情報

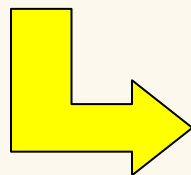
2012年8月期第2四半期(第15期中間)をセグメント別に前年同期実績と比較したものです。

第14期中間

(単位:千円)

事業区分	コンテンツ事業	携帯販売事業	美容関連事業	その他事業	全社・消去
売上高	1,055,771	160,213	593	2,344	△ 6,198
(売上高構成比)	(86.6%)	(13.1%)	(0.0%)	(0.2%)	—
営業利益	529,403	4,347	△ 763	1,209	△ 171,801

※売上高、営業利益ともに、内部取引を含んだ数値を記載しております。



第15期中間

(単位:千円)

事業区分	コンテンツ事業	携帯販売事業	美容関連事業	その他事業	全社・消去
売上高	1,173,899	148,992	343	884	△ 4,680
(売上高構成比)	(88.7%)	(11.3%)	(0.0%)	(0.1%)	—
営業利益	479,663	△ 17,150	△ 774	624	△ 178,469

※売上高、営業利益ともに、内部取引を含んだ数値を記載しております。

コンテンツ事業 (モバイル向け、PC向け売上高推移)

当社グループの連結売上高とその売上高の主たる構成となっているモバイル向け売上高及びPC向け売上高の推移を表にしたものです。

(単位:百万円)

決算期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期中間	第14期	第15期中間
	2006年8月	2007年8月	2008年8月	2009年8月	2010年8月期	2011年8月期 第2四半期累計	2011年8月期	2012年8月期 第2四半期累計
売上高(連結)	1,051	1,349	1,487	1,908	2,135	1,212	2,468	1,319
前期比	24.4%	28.4%	10.2%	28.3%	11.9%	20.4%	15.6%	8.8%
うち、モバイル向け	437	615	751	936	1,334	852	1,714	928
前期比	43.3%	40.7%	22.1%	24.6%	42.5%	42.4%	28.5%	8.9%
うち、PC向け	515	517	423	387	332	160	337	212
前期比	7.7%	0.4%	△18.2%	△8.5%	△14.2%	△8.1%	1.5%	32.5%

※第15期中間の前期比は、第14期中間に対する比率です。同様に第14期中間の前期比の部分は、この表には記載していませんが、第13期中間の金額に対する比率であります。

2012年8月期第2四半期(第15期中間期)連結業績の概要

2012年 8月期 第2四半期連結累計期間決算概要 期初の業績予想との対比

2012年8月期第2四半期連結業績の期初の業績予想と実績の差異

下記の表にありますように、当社グループの連結業績予想は、メディア工房と携帯販売子会社のMKコミュニケーションズから計画していました。その期初の予想と実績の差異の状況は以下の通りでございます。

- **メディア工房(個別)は、利益は第2四半期(累計)の予想をわずかに下回りました。**
 - ・コンテンツ事業は、前年同期比では好調を維持しましたが、予想に僅かに届きませんでした。
 - ・下半期は、売上原価の見直しや広告費の見直しを行い、利益率の改善を図ります。
- **携帯販売事業を行なっているMKコミュニケーションズは期初予想した業績を未達成となりました。**
 - ・売上高が予想の数値を未達成に終わり、経費面の削減も進まず予想を下回りました。

今期業績予想との比較

(単位:百万円)

	連結		個別 メディア工房		個別 MKコミュニケーションズ*	
	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期
期初予想 売上高	1,360	2,774	1,201	2,449	159	325
(実績値)	(1,319)		(1,175)		(148)	
差異	△ 41		△ 26		△ 11	
期初予想 経常利益	309	717	309	717	0	0
(実績値)	(284)		(303)		(△19)	
差異	△ 25		△ 6		△ 19	
期初予想 当期純利益	179	417	179	417	0	0
(実績値)	(151)		(171)		(△19)	
差異	△ 28		△ 8		△ 19	

※個別の数値は、内部取引を含んだ数値を記載しております。

連結財務諸表①

【四半期連結貸借対照表(要旨)】

(単位:百万円)

科目	当期中間 (2012年2月29日現在)	前期 (2011年8月31日現在)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	670	1,032
売掛金	634	623
商品	13	7
仕掛品	19	13
貯蔵品	1	1
その他	130	87
貸倒引当金	△ 16	△ 11
固定資産		
有形固定資産	288	76
無形固定資産	60	72
投資その他の資産	368	370
資産合計	2,170	2,273

(単位:百万円)

科目	当期中間 (2012年2月29日現在)	前期 (2011年8月31日現在)
(負債の部)		
流動負債		
買掛金	39	41
1年内返済予定の長期借入金	275	297
未払費用	126	167
未払法人税	131	170
その他	51	69
固定負債		
長期借入金	208	246
負債合計	832	994
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	451	451
資本剰余金	348	348
利益剰余金	711	769
自己株式	△ 194	△ 306
新株予約権	20	16
純資産合計	1,337	1,279
負債・純資産合計	2,170	2,273

連結財務諸表②

【四半期連結損益計算(要旨)】 (第2四半期連結累計期間)

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期中間期	前中間期
	2011年9月1日から 2012年2月29日まで	2010年9月1日から 2011年2月28日まで
売上高	1,319	1,212
売上原価	405	335
売上総利益	913	876
販売費及び一般管理費	629	514
営業利益	283	362
営業外収益	3	0
営業外費用	3	2
経常利益	284	359
特別利益	1	—
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純利益	285	359
法人税、住民税及び事業税	132	146
法人税等調整額	1	△ 2
少数株主損益調整前四半期純利益	151	215
当期純利益	151	215

【四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)】 (第2四半期連結累計期間)

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期中間期	前中間期
	2011年9月1日から 2012年2月29日まで	2010年9月1日から 2011年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	36	169
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 240	38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 157	△ 368
現金及び現金同等物の増減額	△ 361	△ 160
現金及び現金同等物の期首残高	1,032	754
現金及び現金同等物の期末残高	670	593

事業戦略

I 新たなチャネルへの拡大 フィーチャーフォンからスマートフォンへ

スマートフォンの急速な普及に対応して、市場を取り込むためにコンテンツ提供を積極的に拡大します。

コンテンツの配信先である携帯電話が、従来型のフィーチャーフォンから機能的・構造的にパソコンに近いスマートフォンに急速に移行しております。携帯電話は単なる通話のための端末ではなく、生活端末として急速な進化を遂げています。



キャリア(docomo、au・・・)の公式スマートフォンサービスに向けて多数のコンテンツを提供します。

iPhone向けアプリ、Android向けアプリを、無料・有料いずれについても積極的に提供します。

当社オリジナルの誘導サイトとなる無料ポータルの上げを計画しています。

II 海外に向けた配信チャネルの拡大

中国最大級のポータルサイト及びSNSサイト(延べユーザー数11億人)に向けて、コンテンツ配信を予定しており、既にその一部スタートしております！ グローバル戦略を推進しており、今後も占拠コンテンツはもちろん、占拠以外のコンテンツの配信も増やし、売上高の拡大を目指します。

中国

今年3月より中国でのコンテンツの配信がスタート！

コンテンツ提供先	配信開始予定	会員数
「開心網」	2012年3月スタート	1.1億人
「QQ.com」	2012年6月予定	7億人
「SOHU.com」	2012年8月予定	3億人

韓国

当社のコンテンツは、韓国のユーザーにも好評を博しており、現在4つのコンテンツを配信中です。さらに配信網を増強するべく、新たな配信先を模索中です。

Ⅲ コンテンツジャンルの拡大を目指します。

①恋愛シミュレーションゲーム（ソーシャルゲーム）

多彩な個別課金メニュー（ストーリーとアイテム）を用意した恋愛シミュレーションゲームを投入。

新作定期リリース

複数の配信網に展開

現在、2本リリース済み。今後、新たな収益源にブラッシュアップしていきます。

②美容関連コンテンツ

『美容ラボ』の姉妹サイト『Dr's美容ラボ』を投入。

メディア活用、有カタレント活用『美容ラボ』の活用

月額情報料 収入
Eコマース収入

今年4月リリース済み。今後、新たな収益源にブラッシュアップしていきます。

③M&A展開によるコンテンツジャンルの拡大（シナジー効果や事業拡大の観点で考えていきます）

有望なコンテンツジャンルの検討

有望なコンテンツへ継続的にアプローチ

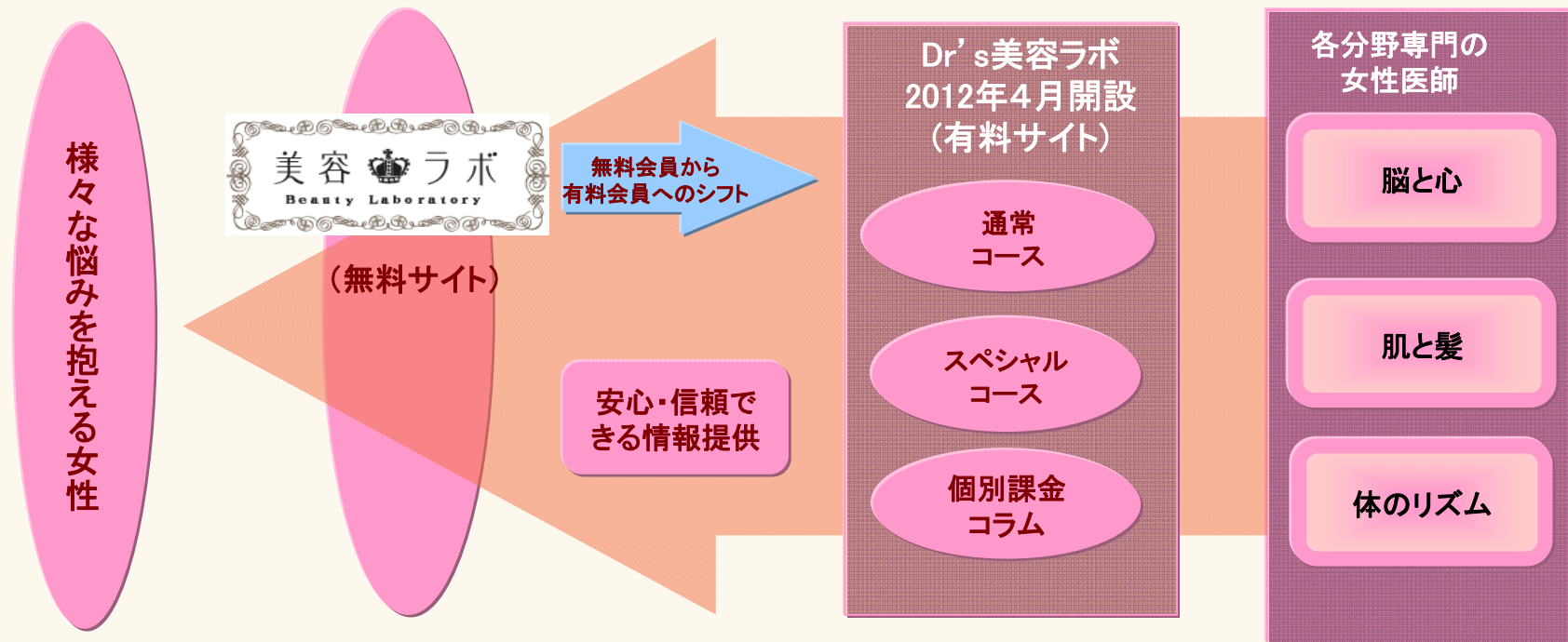
収益性を検証しM&Aを実施

コンテンツジャンルの拡大と収益化

占いコンテンツの主要顧客層（30代～40代の女性）を中心に、より多くの顧客層にリーチ可能な新ジャンルのコンテンツを投入し、有料会員数の拡大・収益拡大を推進します。

IV 新たな美容事業の構築を目指して

女性の抱える様々な悩みに、信頼できる情報で応える、新しい有料サイト「Dr's美容ラボ」を2012年4月に開設しました。これまでの無料の「美容ラボ」サイトや美容サプリメントの販売とのシナジー効果を出すべく運営・企画を行っていくことを計画しております。



V インフラ基盤の強化

主力事業であるコンテンツ事業の基盤を磐石にするため、インフラ基盤の強化を行いました。

- ①海外の巨大サイトへの配信が続々と決定しており、容量の大幅増強を行いました。
→ハードウェア、ソフトウェアの安定性を強化徹底し、より堅牢で安全で大増量に耐えられるインフラの構築と運用の整備を行いました。
- ②水害・地震といった災害に備えて、災害対策を予め行いました。
→札幌に大容量のデータセンターを設置致しました。

会社概要

●会社概要 (2012年2月29日現在)

商号	株式会社メディア工房
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-6 住友不動産新赤坂ビル12階 TEL : 03-5549-1804 FAX : 03-3586-4480
設立	1997年10月
資本金	451百万円
事業内容	デジタルコンテンツの制作、配信事業 eコマース等による物販事業
従業員数	110名(連結)

●役員 (2012年5月25日現在)

代表取締役社長	長沢 一男
取締役	岩崎 秀樹
取締役	森川 隆好
取締役	長沢 匡哲
取締役	石井 荘一郎
常勤監査役	富田 正造
監査役	原 文一
監査役	日高 正信

●沿革

2000年	4月	資本金16百万円で有限会社メディア工房から株式会社メディア工房に組織変更
2003年	1月	KDDI株式会社の運営する「Ezweb」向けにコンテンツの提供開始
2004年	4月	ヤフー株式会社が運営するYahoo! JAPANのサイトにコンテンツ提供開始
	7月	NTT DoCoMo i-modeに占いコンテンツの提供を開始
2006年	9月	東京証券取引所マザーズに株式を上場
2007年	12月	「携帯端末販売」を目的に株式会社MKコミュニケーションズを設立
2009年	1月	ニンテンドーDS向けソフト「DS占い生活」発売
	9月	携帯向け無料ポータルサイト『本格鑑定 無料占い』配信開始
	12月	業容拡大に伴い、本社を東京都港区赤坂4-2-6に移転
2010年	2月	mixiアプリヘゲームアプリケーション提供開始
	5月	モバゲータウンヘゲームアプリケーション提供開始
	8月	アンドロナビ(BIGLOBE)へ占い無料アプリ提供開始
	10月	モバイル版GREEにゲームアプリケーション提供開始 韓国Webサイト「STELLA-CAFÉ」に占いコンテンツ提供開始
2011年	1月	携帯ポータルサイト「美容ラボ」プレビューオープン
	8月	中国最大級のSNSサイト「開心網」への占いコンテンツサービス提供の合意
	9月	当社占いサイトの登録会員数が100万人を突破
	10月	中国最大級のポータルサイト「QQ.com」への占いコンテンツサービス提供の合意
	11月	中国最大級のポータルサイト「SOHU」への占いコンテンツサービス提供の合意
	11月	当社の26コンテンツをdメニュー(NTT DoCoMo)から提供開始
2012年	3月	中国最大級のSNSサイト「開心網」で占いサービスをスタート
	4月	「Dr's 美容ラボ」～iモード(R)、EZweb、Yahoo!ケータイ公式サイトにて有料コンテンツを配信開始!～

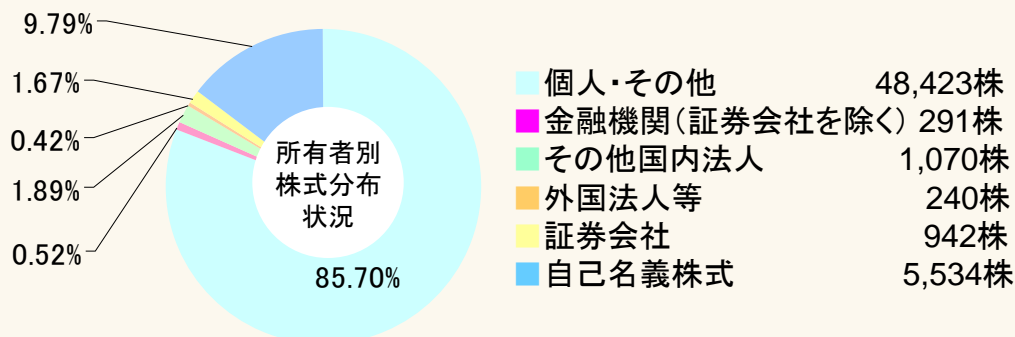
株式の現況

●株式の現況 (2012年2月29日現在)

発行可能株式総数	236,000株
発行済株式の総数	56,500株
株主数	1,450名

●大株主 (2012年2月29日現在)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
長沢 一男	37,802	66.90
株式会社メディア工房	5,534	9.79
ニフティ株式会社	1,000	1.76
長沢 敦子	900	1.59
日本証券金融株式会社	263	0.46
日浦 史夫	259	0.45
株式会社SBI証券	258	0.45
川又 一浩	209	0.36
今村 勝則	178	0.31
田口 哲郎	175	0.30



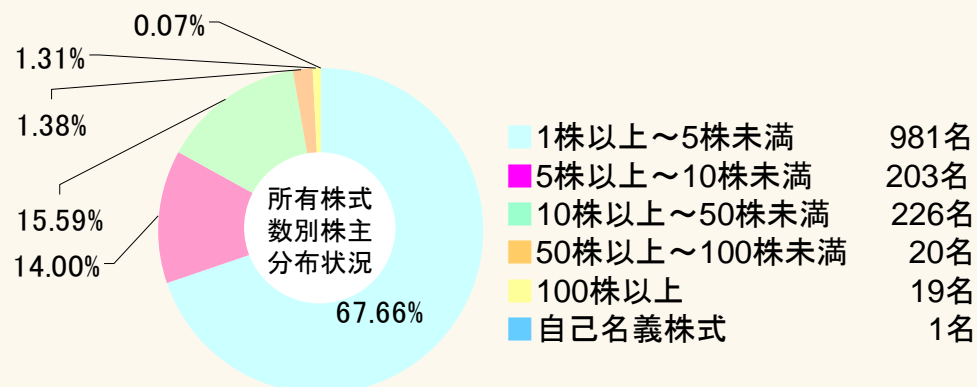
●株主メモ

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	11月
基準日	8月31日
公告方法	電子公告により当社ホームページ

(<http://www.mkb.ne.jp/>)に掲載いたします。

ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人※	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063
(電話お問合せ)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031 (フリーダイヤル)



当社コンテンツのご紹介

モバイル向け占いコンテンツ



～イタコの血筋である富士川が“魂の憑代”となり魂の声を代弁します！～

魂の憑代◆継承霊術

イタコの血筋であるだけでなく、フジテレビ『とくダネ!』『きょうの占い血液型選手権』のナレーションを勤めるなど、メディアでも評判の占い師・富士川碧砂監修サイトがついに登場！富士川碧砂先生だからこそ出来る、占術に縛られない“視る”占いをコンセプトに、スピリチュアル寄りの新しい占いを目指します

美容関連コンテンツ

美容ラボ



女性の美と健康を一生支配する『女性ホルモ』注目！ホルモンのバランスを整えると、肌や体の調子がグンとUP！おまけにダイエットにも関係が!?肌も心も体も、自分らしいトータルビューティーを目指す女性を、三人の専門科医がサポートします。

PC向け占いコンテンツ



～フジテレビ「金曜日のキセキ」で話題沸騰の花凛があなたのために占います！～

キセキの鑑定士 花凛

独自のオーラ・チャクラ診断から依頼者の悩みや問題を分析し、今後の行く末に向けたアドバイスをする新時代の占い師でありスピリチュアルカウンセラーが、本気で泣けて本当に当たる、感涙必至の的中力であなたを占います。

ソーシャルアプリ

ゴースト★真夜中の恋人



平凡なフリーターのアナタは、街角の占い師に路地裏に立つ美しい屋敷に招き入れられる。そこにいたのは3人のセブな男性たち。彼らはなんと幽霊だった——イケメン幽霊をこの世に蘇らせるため、アナタは毎夜0時に屋敷へと足を運ぶことになる

...

スマートフォン向け占いコンテンツ



～世紀の超能力者ユリゲラー氏があなたの深層心理に迫ります！～

ユリ・ゲラーのサイキック診断

世界中で超能力ブームを巻き起こしたユリ・ゲラー氏監修。オーラを映し出すことのできるカメラ、深層心理に合ったマインドメッセージを受け取ることのできるアプリです。

FacebookNavi初!!の公認アプリ

ともだちランキング



ともだちランキングはFacebook navi初!!の公認アプリケーションです。あなたのFacebookに登録されている友達とのいろいろな相性をランキング形式で紹介。ランキングは日々変動します。ランキングメニューも毎日入れ替わりますので「今日はどんなランキングが見れるかな?」という楽しみがあります。もちろん、ランキングの結果は、Facebookに投稿することができます。